

「ヘルプマークについて」

座間市立相武台東小学校 5年 加藤レイ

目に見えないしょうがいや、まわりの人のたすけがひつような人がつけるマークです。
あかいろのフダに、ハートと十字のマークがかいてあります。

ぼくは、できないことやわからないことがあると、パニックになったりしてしまうことがあったり、もじがかけないので人のたすけがひつようになった時に見せるようにと、市やくしょでおかあさんがぼくにつけるようにもらってきました。

ぼくも、見ためではしょうがいがあることがわからないけど、ヘルプマークをつけていることで、しょうがいがあることがわかります。

おだきゅうでんてつでは、二千十八年六月から全車りょうのゆうせんせきにヘルプマークステッカーがまどにはられるようになりました。

ヘルプマークをつけている人がいたらおとしよりじゃなくてもけがをしていなくても、せきをゆずってあげてほしいなとおもいます。

ぼくはヘルプマークをつけているけれど、からだがいたかったりぐあいがわるかったりするびょうきやしょうがいじゃないので、ぼくもマークをみたらせきをゆずろうとおもいます。

ほかのてつどうでもヘルプマークのポスターやステッカーがはってあります。

これからは、でんしゃいがいでもポスターやステッカーがはってあるところがふえるかもしれません。

ぼくもヘルプマークをつけているので、たすけてもらうことがあるかもしれないけれど、ヘルプマークをつけていてこまっている人がいたらたすけたいとおもいます。